



# 秋の全国交通安全運動

9月22日～10月1日

○ として保存しておいてください いつかまた お役にたつことと思います ○

## 重点目標

- 歩行者・自転車の事故防止  
(特に子どもとおとしよりを交通事故から守ること)
- 運転者等を保護するためのシートベルト、ヘルメットの着用を推進すること。

ふれあいの街かど

交通安全は、まず「ゆすりあい」の心が大切。歩く人も、運転する人も、心と心のふれあいが必要です。

## 50年上半期

## 交通事故状況

件数は減ったが死者は激増——

ことし1月から6月までの6か月間に市内で六百六十三件の事故が発生、死者十六人、けが八百九十九人のほつています。前年同期にくらべ、件数では四十三件減ったものの、死者は逆に七人の増加です。死亡重大事故の急増は、まことに悲しむべき数字です。

ところで、事故を起こした運転者は、きまって「危険がなかった」とか、「相手が止まってくれなかった」という説明をします。だが、「どうして危険がないと思ったのか?」「どうして相手が止まってくれなかったのか?」を反問すると、何も説明することができないのがほとんどです。

運転中は、それぞれが自分なりに危険かどうかの判断をしているに違いありません。しかし、実際には、どのような判断基準にもとづいて事故を防止しているのでしょうか。どんな技りやうの世界でも「原則を忘れるな」と教えています。運転の世界にも判断の基準とすべきものがあります。運転者が、危険か、危険でないかの判断と行動の決意に迫られたとき、どうしたらよいのか? 今見えている危険ばかりでなく、これから現われるであろう潜在危険を見落とさないのが、安全運転の「定石」といえます。

さて、市内の事故の運転者の原因をみると、第一位は前方不注意(135件)、第二位が優先通行違反(67件)、以下徐行違反(43件)、一時停止違反(40件)、安全確認(36件)、交差点安全通行違反(35件)、右折違反(35件)、車間距離不保持(28件)、無理なスピード違反(24件)の順となっています。何と、いっても、運転のルール、定石が守られていなかったことが起因しているといえ、運転者はもう一度「初心にかえって運転を」ということが望まれます。

いっぽう歩行者では、幼児、園児、小中学生が多く六十三件、次いで六十歳以上のおとしよりが十六件と、子ども、としよりの事故が多くなっています。原因は、とび出し、車の直前・直後の横断が大部分を占めています。

交通事故死十六人(上半期)はおとしよりも多く、場所は市街地よりも郊外に多発しています。人口10万人の死者率は六・五人(県下七・三人)で、人口10万人以上百六十八都市中の二十一番目という憂うべき状況にあります。



# みんなで守ろう！ 子どもの交通安全



## 子どもとお母さんの安全ルール



子どもを交通事故から守ってやることは、まず、お母さんやお父さん、つまり保護者の責任です。これと同じく、ドライバーのみなさんや、私たちおとなの務めでもあり、大きくは社会の責任といえるでしょう。

子どもの交通事故のほとんどが道路横断中に起きていて、しかもその二五パーセントが保護者の目の前で起きているのです。また、幼児の事故の六五パーセントは、

自宅から百メートル以内で起きています。

ところで、子どもの事故原因では、①道路への急な飛び出し、②横断歩道や車の直前・直後の横断③道路上の遊びや幼児のひとり歩き④左側通行や信号無視などがあげられます。

そこで、ご家庭のお母さんに、ぜひひとこと。これだけは、お子さんに教えてあげるようにしたいものです。

①道を横断する前に、必ずいったんは止まること。左右も見すにかけ抜けるなどは、自殺行為にひかないこと。

②正しい歩行、正しい横断のルールを教えましょう。できれば、お母さんがついていて、実際に教えこむことも必要でしょう。

③信号を守ること。これは安全への第一歩です。

④道路では遊ばないこと。道路は人や車の通るところ。危険がいっぱいだから、遊びは安全な場所にと、よく教えこむことです。

## おとしよりに も気をつけて

多い横断中の事故

子どもの事故と並んで多いのがおとしよりの事故。おとしよりの事故は、道路横断中がほとんどです。

道路横断は、横断歩道、横断歩道橋、信号のある横断歩道を渡ることで、よくバス停などで、反対側からまっすぐ道路を横切ってくるおとしよりの見かけます。ち

よつと遠まわりすれば横断歩道があるのに車が走っている道路を、手を上げたから当然車は止まってくれるものと思ってしまう、かけ抜けてくるなどは、全く危険なことです。まず、安全をたしかめて、横断歩道を渡ることを。

横断歩道では、手を上げて、車が完全に止まってから渡り出すことです。その際、反対方向からくるクルマにも、十分気をつけることです。

## 老人交通安全教室

前橋市交通安全対策協議会ではおとしよりの交通事故防止のため老人交通安全教室をひらいていきます。

すでに、各地区の公民館等で二十回を開催、千人以上のおとしよりが参加しています。

この老人交通安全教室は、どうしたら事故にあわないか、行動力や注意力についてお話ししています。講話、交通映画、腹話術などによって、わかりやすく学べます。

まだ参加していない人ももちろん、二回でも三回でも参加して、あなた自身を守るための知識を身につけてください。

## 明るい家庭に事故はなし

昔から「笑う門には福きたる」といわれています。家族全員が健康で円満な家庭生活を送るために、夕食後のひととき、お母さんが中心となつて、「家庭における交通安全」を開いてみてはいかがでしょうか。

そして、家族全員が明るい気持ちで毎日を過ごせるように努力したいものです。そうすれば、お宅には交通事故という「不幸」は寄りつかないでしょう。



「パパ気をつけてね」ママさんや子どもさんのひとことが、パパの気持をひきしめます。

## 自転車の人へ

自転車は、正しく安全に乗ることができれば、ほんとうに楽しい乗り物。でも、乗りかたをまちがえると、危険もいっぱい。

自転車のルールは、①必ず道の左はしを走る。②自転車道があるところは、そこを。③きんなど、白線、一時停止、③合図を正しく（右折・左折・停止など）④スピードはひかえて。⑤基本姿勢を守って——など特に注意を。

## 安全運動 年間計画

交通事故の九八％は「人の不注意」から起きている。事故防止のためには、運転者、歩行者、自転車など、道路を利用するすべての人の安全意識の高揚と、正しい交通ルールの習

慣化が何よりも大切です。

このため、市では交通安全協議会を主体に、関係機関や団体の協力を得て、毎年「安全運動」を実施しています。実施に当たっては、市、警察署、交通センターが中心となつてすすめています。市民のみなさんの理解と協力で大きく盛り上げていくことが期待されています。

## 交通安全運動

毎月1日「県民交通安全日」(月の始めに、交通安全の決意を新たにしたい、その月の安全をみんなでお祈りします)

4月上旬「子どもを交通事故から守る運動」(新入学・新入園児の事故防止を重点に)

4月・9月「春・秋の全国交通安全運動」(全国いっせいに実施される運動に合わせて、安全意識

の高揚をはかる)

7月・8月「夏の交通事故防止運動」(夏休み中の子どもの事故防止を重点に実施されます)

12月・1月「年末・年始の事故防止運動」(飲酒運転を中心に実施されます)

——このほか、凍結、行楽、つゆどきの際にも、随時安全運動を展開、事故防止につとめています。

## 交通事故捜査官メモ

7月14日(月) 晴

午前8時45分 清野町地内、県道高崎―渋川線で事故発生。乗用者運転中の21歳の青年がわき見運転をしていて道路左側のブロック塀に激突。顔などに一か月のケガ。

午前8時50分 若宮町三丁目市道交差点で自転車の16歳の女子高校生に、27歳の会社員運転の乗用車が衝突。女高生が七日間の負傷。

午前10時38分 北代田町細井新橋近くの交差点で、軽トラック運転の44歳の職人が、よく確かめないうでバック、バイクの飲食店員が衝突。10日間のケガ。

午後3時10分 日吉町二丁目交差点で乗用車運転の44歳の農家の人が、一時停止をおくれ、左方から進行の41歳の飲食店員の軽ライトバンと衝突。店員が一週間のケガ。

午後5時50分 住吉町二丁目、県道赤城線上で横断歩道のないところを渡ろうとした75歳のおばあさんが、31歳の商店主運転の乗用車にはねられ三週間の負傷。

午後6時40分 住吉町一丁目交差点で38歳の店員が運転の軽乗用車に、前の車を避けようとして右側に出て来た自転車の女子高生がぶつかり、女子高生が二十日間のケガ。

午後7時53分 紅雲町一丁目交差点で、直前右折の55歳の工員のバイクと反対方向から直進してきた44歳の商店主の乗用車が衝突、バイクの工員が重傷。

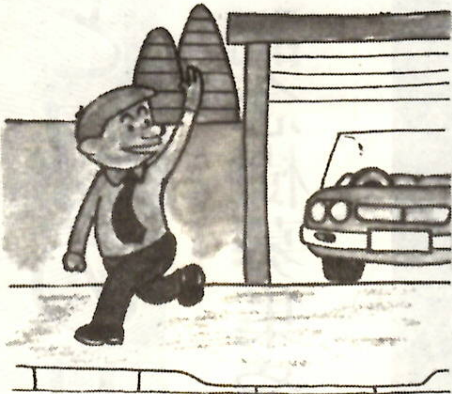
午後9時30分 天川大島町国道50号線上で、37歳の商店員が運転中の乗用車が無理な追い越しをして、25歳の会社員が運転の対向車と衝突。会社員が十日間のケガ。

——このように、一日で八件も市内で起こった交通事故。捜査に当る係官も、東に西に、休む暇もなく現場にとんでいきます。お互いに、ちょっとした注意をすれば防げたものが多く「もう少し慎重であつたらなあ……」というものが捜査に当たった人たちの、共通の思いだそう。



## 酒飲み運転 防ぐには!!

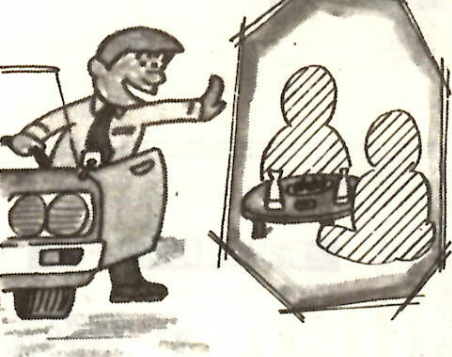
●酒の席へは車に乗って行かない。



●もしも飲んだら車を置いて帰る。



●どうしても運転しなければならぬときは、酒の席へ出ない。



●車を運転する人には、酒をすすめない。



## 運転者のみなさんへ

ゆつくり走ろう

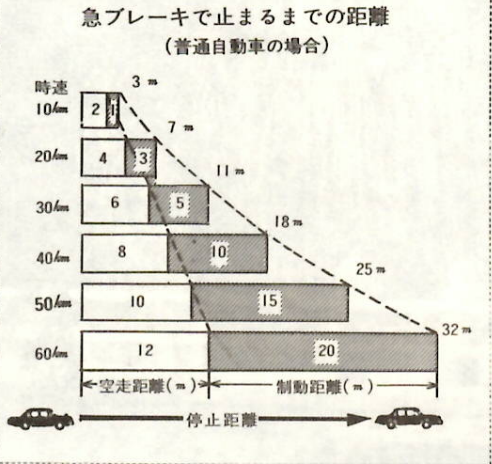
### 40キロ運動

△40キロ走行の4得▽

- ①交通事故が減ります。
- ②騒音、有害排出が少なくなります。
- ③ガソリン代が安くなります。
- ④運転者は疲れません。

・排出ガスの総量は、40キロが最低です。50キロから40キロにスピードを落とすと、窒素酸化物（NOx）三・六％、一酸化炭素（CO）八・九％少なくなります。

・大型トラック（11トン車）の場合、50キロでは八十トン、40キロでは七十三トンです。



④運転者は疲れません。スピードが上がれば、血圧が上がり、脈搏も増え、健康上よくありません。



一瞬の不注意がこんなことに……

●「はみ禁」の価値を知ろう！  
「はみ禁」とは、はみ出し禁止の規制のこと。中央線が黄色で引かれていて、右に黄色の線を越えて走ると、前を走る車を追いつくという意味。前橋市内の上り坂で、道幅が狭い、カーブがある、路地がある、子ども・高齢者が路上にいる……などという悪条件の道を、減速もしないで走って、事故を起こすケースが数多くみられます。特にこの傾向は郊外に多く、市街地の交通混雑な道とは違って、いったん郊外へ出ると、ほとんどの車のゆるみも手放してスピードを……という場面が多いようです。



て即死させてしまいました。この事故はB君の一方的過失で、業務上過失致死罪で裁判中ですが、被害者の遺族から自動車に貸したA君に損害賠償二千六百万円の請求が出されました。A君は事故当時、車に同乗していたわけでもなく、単に車を貸しただけ。しかし法律的には賠償責任があると聞いてびっくり。

●「自己のために自動車を運行の用に供する者は、人身事故については被害者に対して損害賠償の責任がある」とされています。この運行供用者の責任は、自分に過失がなくとも、運転者に過失があれば免れることはできません。もし、強制、任意の保険で足りなければ自腹を切って賠償することになります。

●保険切れの二輪車に注意  
七月一日から自賠責の保険金が死亡で一千五百万円にアップされました。誰も、交通事故は起こしたくないとわかってはいますが、自分だけは起こさないという保障はどこにもありません。そのため、二輪車にも強制保険がかけられています。ところが、四輪の自動車は車検のときチェックされます

### みんなで実行 ドライバー安全訓

- ①むちゃなスピード、絶対出さない。
- ②むりな追越し、絶対しない。
- ③飲酒運転、絶対しない。飲
- ④みだら乗らない習慣を。
- ⑤わき見運転、命とり。
- ⑥細い道、裏通りでは、スピードダウン。
- ⑦じゅうぶんな車間距離を保持しよう。
- ⑧シートベルトを、いつもしっかりとう。

●「バイオリズム」をこころい？  
「バイオリズム」というのは、生命のリズムともいわれるもの。もともと人間には、身体、感情、知性の三種があり、これらのリズムは、人間の生まれた瞬間から死に至るまで、一定の周期をくりかえしているといわれます。

### 踏切の安全な通りかた

「止る、見る、その一秒が身をを守る」ということばがあります。これは、踏切を通る場合、誰もが守らなければならない常識の第一歩なのですが、これがなかなか実行されていないのです。

- ①踏切では必ず一旦停止して、右左の安全を確認しましょう。まだ大丈夫と思っても、絶対にわたらないことです。
- ②複線区間では、反対方向からくる列車に気をつけましょう。
- ③見通しのわるい踏切では、窓をあけて、目と耳の両方で安全を確認し、助手などがいるときは誘導させましょう。
- ④踏切の先が混雑しているときは、必ず踏切の手前で待ちましょう。もし、踏切の中でとりになったら大変です。
- ⑤狭い踏切では、お互いにゆずり合いの気持が大切です。
- ⑦踏切上での変速はしないことです。



# 水と緑の月間

9月下旬  
10月下旬

## 人生記念樹募集や市の木苗木プレゼント



市街地の中心を流れる広瀬川。水と緑のまち前橋のシンボルのひとつでしょう。

月日、植樹者が書き込まれ、五年間表示、その後は市の台帳に記録し大切に保存します。あなたも、どうぞ。

### 市の木・市花

#### 苗木プレゼント

市の木（イチヨウ）市花（ツツジ）を二本組みで、二百人にプレゼントします。ご希望の方は、ハガキで九月三十日までに市役所公園緑地課（大手町二丁目十一）へ申し込んでください。一人一枚限りで、ハガキには住所・氏名・性別・年齢・職業をお書きください。なお、申込者が多数の場合は、十月六日抽せんします。当選者には、別途通知します。

#### 緑と花の講習会

人間の生活に、豊かなるおいと想いを与えてくれる緑と花。みなさんの創意と愛情で緑を育て、花を咲かせる「緑と花の講習会」を、十月下旬から毎週木曜日（木曜日）五日間ひらく計画で、いま準備をすすめています。講習会の内容など、詳しいことは次号でお知らせします。

#### 市営敷島ボート場無料の日

九月二十八日（日）午前九時から午後三時まで。雨天の場合は十月五日（日）とします。

### 人生記念樹の募集

ことし春の植樹に続き、記念樹植栽コーナーに人生の記念（誕生・入学・卒業・結婚など）による記念樹を、みなさん自身の手で植えていただくものです。

市では、昨年「水と緑のまちをつくる条例」を制定、まちの緑をふやし、水と調和した、豊かな自然環境をつくることを、積極的にすすめることにしています。このなかで「水と緑の月間」を年二回もうけ、特に緑化推進と市民の緑に対する関心を深めていただくための行事を実施することとしています。ことしは、その第一回として、九月中旬から十月中旬までの一か月間、次のような行事を計画、みなさんのご理解とご協力をいただくことにしています。

## 新生活運動シリーズ ⑥

### 冠婚葬祭簡素化実践例

#### 県庁職員の場合

冠婚葬祭簡素化実践例の紹介、今回は職場の例として、県庁職員のみなさんの申し合わせを取り上げてみましょう。

#### 人によつては月四、五回も

県庁職員は、知事部局、県警、議会、県教委事務局、出先機関を含めると約五千七百人。これだけの職員がいると、毎日のように、誰かの関係者の葬儀があります。職員本人の場合はもちろん、職員の父母、子ども、配偶者などが亡くなり、葬儀があると、同じ課や係の人たちはもちろん、時には何年も前に職場が同じだったという人まで葬儀に参列するのが通例となつていくようです。

こうなると、人によつては、多い月には四、五回も葬儀に参列することになります。

施主も心配の種「香典返し」として、物価高のなかで一般参列者の香典も、いま三千円が普通という状態。香典回数が重なれば、必然的に家計にもひびくというところで、この傾向を何とか改善できないかという気持は、誰しも感じていたところでした。

いっぽう、葬儀の施主となつた人たちは「香典のお返し」が心配

#### ある朝のひととき

初秋の朝六時。中央大橋下の河川敷広場に、ぼつんぼつんと人影が集まってくる。堤防の上には、電線にとまったツバメのような一列がある。

### モニターの声から

人、両手を腰に、うしろ手に、あるいは片手に小さな本を持つ人など。朗々と詩吟を、あるいは民謡をうたう人、なかには謡曲を川面に向つてうたい続ける。利根の川音

のタネ。不幸の悲しみのなかで、あれこれ考えあぐねて気を使うのが実情でした。

#### 言うは易く行うは難し

一部では、以前からも「香典のお返し辞退」を申し合わせ実行してきた課もありましたが、「言うは易く行うは難し」で、なかなか徹底されるまでには至らなかったのが現実だったようです。

それに「故人の義理がすまないから……」という家族などの反対も、これをすすめていく上での障害となつていたとことです。

しかし、最近の「簡素化ムード」のなかで、「全職員に徹底して実行可能のものから改めていくことは、ぜひ必要——」という声から人事課が各課の庶務担当係長などを集めて提案したところ「ぜひとも実施すべきだ」という反応が強くかえつてきました。

こうして、具体的に「簡素化申し合わせ事項」が決められました。

#### 県庁職員の申し合わせ事項

職員および職員の父母などの死亡の場合——①香典は血縁関係など特殊の事情のある場合を除き原則として千円程度とする。②香典返しは、いっさい行わない——この二点を全職員が守ることとし、香典返しには必ず「香典のお返しは辞退します」と書き、葬儀の施主側には、県庁関係者の香典にはお返しをしないよう、所属の庶務担当係長が説明し、納得してもらうことにしています。

全課で徹底して実行  
全職員の簡素化への申し合わせ

は、それらの声を、さわやかに包んで、ごうこうと流れていく。

広場には、いつの間にか人が集つてきて、思い思いに動きまわっている。ポイントと、空高く舞いあ

がったボールを追う若ものの姿もある。杖を持った人、白いズック靴をはいたおとしより、思い思いの軽装で歩きまわっている。

「平らな舗装道路より、ごつごつしたところを、石ころをよけなが

から三か月。全課で申し合わせ通り実行されています。

#### 当初は「人生最後の儀式である

葬儀に参列していただき、香典まであげてくれた人にお返しをしないでは義理がすまない」という施主となつた人たちの声も一部にはあつたそうですが、「それはお互いのこと。今ここで勇気をもって改めなければ……」と納得していただき、今では全課、全職場で徹底されているそうです。

「先日、ある職員の葬儀でも、職員はもちろん、部長、課長さんがたも千円の香典でした……」

「この問題は、家族や親類、周囲の人たち、全部の理解と協力が何といつても第一条件でしょうね。最初は、『お返しなし』を納得してもらおうに骨を折つたようですが今では徹底されましたね」

職員のみならずからの声もなかなか好評のようです。

#### 市役所でも全職員に

こうした県庁職員の簡素化申し合わせと同じく、前橋市役所でも六月から二千二百人の市職員全員が①弔問は名刺を原則とし、香典を包む場合は千円とする。②お返しは、いっさいしない。③香典を包む場合は、共済会で一括印刷の「お返し辞退袋」を使う——などを決め実行しています。

このほか、各官庁、事業所などでも職場ぐるみの簡素化運動がひろがっています。

——みなさんの職場、みなさんの町内などの実践例を、ぜひ市広報係までお知らせください。

ら歩くのが、なによりの運動なんです」と、歩行練習にはげむおとしより。

「堤防の上の歩きにくいところを苦勞して歩けるようになった」

「大利根の川瀬に向かうと、腹の底から発声ができ

るようになってきたよ」——なんとまさやかな中年連の幸福ではないか。いつまでも、こうした自然のままの場所を破壊しないほしい。（南町三

丁目・登坂二郎）





## 市民スポーツ祭

参加者募集

### 軟式庭球大会

市教委、市体育協会、軟式庭球連盟前橋支部主催の軟式庭球大会を十月十日午前八時半（雨天の場合十一日と十二日の午後一時）から市営庭球場コートでひらきます。参加資格は、市に在住・在勤・在学（高校以上）いずれかの該当者です。種目は①一般男子A（3

# 田植え唄・糸ひき唄など— 前橋市郷土芸能大会 27日・県民会館ホールで

上新田町雷神社の太々神楽



わたしたちの心のふるさとでもある郷土の伝統芸能を、みんなにみてもらおうと、第三回前橋市郷土芸能大会が九月二十七日の土曜日、午後一時から四時まで、県民会館小ホールで行われます。二之宮町に古くから伝わる二之宮式三番叟、東大室町の田中八千代さんによる田植え唄、千代田町十日会のみなさんによる義太夫三河町片貝さんによる糸ひき唄、上新田町の雷神社太々神楽、青柳町の祇園囃子、上泉町の獅子舞が保存会のみなさんによって演ぜられ、最後に小坂子町芳話会のみなさんが、みなさんの前にてぎやかに披露されることになっています。ご家族、ご近所のみなさんとお誘いあって、お出かけください。

## 文化財めぐり

10月8日・北部地域

さわやかな秋、祖先が残した文化遺産をたずね、文化財の理解と愛護を深めてもらおうと、十月八日、市教委主催の「文化財めぐり」が行われます。今回は、市の北部地域を中心に次のコースをめぐる予定です。

集合・中央公民館（8時10分）  
出発（8時30分）①岩神飛石稲荷②日輪寺③塩原塚古墳④虚空蔵塚古墳⑤雙林寺⑥宮田不動尊⑦三原田舞台⑧小室遺跡⑨芳賀西部団地遺跡⑩善勝寺⑪中央公民館・解散（午後4時30分ごろ）

対象は市内在住の一般の人（幼児・小学生はご遠慮を）で先着五十人まで。参加希望の人は、十月一日午前八時半から市社会教育課（市役所千代田町分室）へ



昨年の史蹟めぐりで（城南地区）

直接お出かけの上、申し込んでください。受付けで、「参加証」をお渡しします。前回は参加希望者が多く、受け付け後もなく定員に達しましたので、お早めに。なお、電話での申し込みは、受け付けいたしません。当日は小雨決行、昼食は各自ご持参ください。

## 市予約奨学生

51年度  
40人を募集

市内に住んでいる中学校三年生で、経済的事情により、高校等へ進学することができないという人たちのため、奨学のうえ、あらかじめ奨学生として予約し、高校へ入学と同時に月額五千元（無利子）を貸与する昭和五十一年度「予約奨学生」を募集します。採用人員は四十人、貸与期間は昭和五十一年四月から卒業までです。返還は、高校卒業後六月後から十年間、一年を四期に分けて返還していただきますが、高校等卒業後大学へ進学した場合は、卒業まで延期できます。

申請には連帯保証人二人を必要とします。（一人は保護者、一人は市内に居住し、独立の生計を営み保証能力のある人）申込期間は十月一日から二十日までの二十日間、学校長を通じて申請書を市教育委員会総務課（市庁舎三階、電話24局一一一内線二三八）へ提出してください。詳しい問い合わせも同課へ。

## 青少年相談に 専用電話設置

市青少年室の青少年相談に、相談専用電話がはいりました。ダイヤルは33局5911です。秘密厳守、無料です。9時から5時まで。土曜午後、日・祭日は休み。あなたの悩み、ご相談を電話でぜひ。

## 教育資料館案内

桃井小学校北東隅にある「教育資料館」では、資料展示替えのため、しばらくの間、みなさんに迷惑をおかけしていましたが、今回、展示施設の補充もでき、ご来館をお待ちしています。学校や個人など、多くのかたがたから資料をお寄せいただき、珍しいものをご覧いただけます。みなさんでどうぞ。

## △新展示資料の一部▽

▽学制施行のころの前橋町の教育財政資料▽明治政府の教育奨励策資料▽御真影・勅語・詔書関係資料▽明治中ごろの教材写真・絵画等▽大正・昭和初期の勤儉教育資料▽陸軍特別大演習のときの天覧児童作品▽今も健在、日米親善人形使節▽食糧増産、学童疎開、学用品配給、連合国総司令部指令文書など、戦中戦後資料多数。なお、中島国雄画伯寄贈の「雪の赤城」八十号の大作が熊倉菊蔵さんのご厚志で館内に掲額されました。

## 卓球競技大会

市教委、市体育協会、市卓球協会、市中体連の主催で、十月五日午前八時半から県スポーツセンターでひらきます。

## 児童文化センターあんない

電話24局2548

昨年の歴史教室のひとこま



▽歴史教室Ⅱ九月二十八日（日）午前九時から午後三時まで。場所は新田郡方面（八幡山古墳、例幣使街道宿場、長楽寺、東照宮、生品神社）など。講師は中央小教諭駒形義夫さん。対象は小学校五年生から中学生まで四十人。当日は昼食、筆記用具、雨具、

▽造形教室「新しいはにわをつくってみよう。新しいはにわって何かな？」Ⅱ九月二十八日（日）午後一時から四時まで。対象は、小学校四年生以上中学生まで三十人。講師は群馬大学講師、千本木康良さん。受講料は無料。当日は、古手ぬぐい、新聞紙を用意してください。受講希望の人は九月二十一日から受け付けますから、材料費二百円を添えて、直接センターへ申し込んでください。▽化学教室「せんいづくりをしよう」Ⅱ十月十二日（日）午後一時三十分から三時三十分まで。対象は、小学校四年生から中学生まで四十人。講師は第七中学校教諭、斎藤康之さん。受講料は無料。当日は実験のできるしるしをしてくださいます。受講希望者は、十月五日から受け付けますから、電話でセンターへ申し込んでください。▽自転車の安全な乗り方を身につけようⅡ九月二十八日（日）午前九時から十時まで。対象は、小学校四年生六十人。練習内容は、発進の仕方、交差点の右折の仕方、踏切の渡り方など。参加希望者は九月二十一日から受け付けますから、電話または直接来館して申し込んでください。検定に合格した人には合格証をおわたします。▽たのしい話教室「子どもたちのゆめをそでるおもしろく美しいお話を、みなさんでききましょう」Ⅱ九月二十八日（日）午後一時三十分から三時三十分まで。対象は幼児から小学生まで六十人。お話は「馬になった旅人」「リゅうの目なみだ」など。講師は若宮幼稚園副園長、吉沢昭子さん、総社幼稚園副園長、柳シズエさん。希望者は九月二十一日から受け付けますから、電話または直接来館して申し込んでください。



はかりの定期検査を十月七日から市内各会場でを行います。対象となる「はかり」をお持ちの人は、もれなく検査を受けてください。

【検査対象者】  
はかりを取引上および証明上の計量に使用している人で、①商店、工場などで営業用に使用しているはかり②病院、薬局などで使用している調剤用のはかり③病院、保健所、学校などで使用している身体検査用のはかり④農家で使用している園芸農産物出荷用のはかり⑤官公庁で使用している納品検収用、自動車検収用、自動車検収用のはかりなどとなっています。

【注意事項】  
①検査の受付時間は午前九時三十分から十一時三十分まで、午後一時から三時までです。

②原則として指定日時・会場で検査を受けていただきます。ただし、疾病、旅行、その他やむを得ない理由で、当日検査を受けられない場合は、最寄りの会場を受けてください。

③計量器の外部を持ち帰してください。

④転・廃棄などで、現在計量器を使用していない場合は、その旨を市事業課計量係（電話31局四五二四）へ連絡してください。

【定期検査日程】  
10月7日 向町公民館（平和町一・二丁目）  
10月8日 西岩神町公民館（緑が丘町、敷島町、岩神町一・四丁目）  
10月9日 文京町三丁目公民館（文京町一・四丁目、天川原町）

## はかりの定期検査



いつも笑顔で正しい計量

### 密封商品の 正味量表記

計量法の改正で「長さ、質量、体積などを計って販売するものに適用する商品」を容器に入れるか包装して販売するときは、法定計量単位で容器や包装紙に、その商品の正味量を表記しなければならぬ。

と決められました。

この表記義務は、ことし三月十三日から、六月の猶予期間が満了しましたが、九月十三日以降は、この表記が法的に義務づけられていますから、ご注意ください。

表記義務商品は食品、飲料、石炭、手編み毛糸、塗料・塗料用希釈剤、綿縫糸、絹縫糸、ふとん綿中入綿、液化石油ガス、灯油、合成洗剤など。

### 30～60代の人の トレーニング

#### 講習会

温水プール・トレーニングセンターでは、三十代から六十代までの人を対象としたトレーニング講習会をひらきます。期間は十月三日から十二月二十二日までの毎週月・金曜日（午前十時から正午まで）です。受講料は二千元、定員は三十人です。九月十六日から二十五日まで、温水プール・トレーニングセンター（電話31局一四九六）へお申し込みください。

### 夏のプールのあとは 温水プールで

2時間おとな200円

さらさら光る水しぶき。思いきり泳いだ市民プールの夏も、もう終わります。

さあ、これからは、真冬でもあたたかく泳げる温水プールが、みなさんのご利用をお待ちする時期に入ります。



楽しさいっぱい温水プール

金となります。水温を一定の温度まで暖めるための光熱代が必要なためです。

●温水プール  
おとな200円、学生（高校・大学）120円、こども（中学生以下）80円。いずれも2時間単位。

●トレーニングセンター  
おとな100円、学生50円、こども30円。いずれも1回単位。ロッカー使用料1回20円、ヘヤードライヤー使用料1回10円。

### 商業時局 ゼミナール

9月29日商工会議所で

市と商工会議所の主催で、九月二十九日午後二時から四時まで、商工会議所で商業時局ゼミナールを開きます。

講師は日本商業立地研究所長、藤島俊さん。定員五十人。受講料は無料。

受講希望の方は、九月二十六日までに市商政課（電話24局一一一）内線二四九または商工会議所商業課（電話24局一一一）へ申し込んでください。

### 複式簿記講習会

10月1日から11月7日まで

市と商工会議所の主催で、十月一日から十一月七日までの毎週月・水・金曜日午後六時から八時まで、複式簿記講習会を商工会議所でひらきます。

講師は、税理士・青木二士夫さん、恩田勇さん。受講料は三千円。定員は八十人。

なお、十一月九日に行われる検定試験の予習にもなりますから、ぜひ参加してください。

受講希望の方は、九月二十九日までに受講料を添えて、市商政課（電話24局一一一）内線二四九または商工会議所税務指導課（電話24局一一一）へお申し込みください。

### 広報手帳

●群馬県警察官採用試験  
男子警察官（昭和23年4月2日から33年4月1日まで）に生まれた人（百五十人）、婦人警察官（昭和25年4月2日から33年4月1日まで）に生まれた人（二十人）を募集します。受付期間は九月十日から十月六日まで。詳しくは県人事委員会事務局（電話23局一一一）または県警本部警務課へ。

●県立職業訓練校生徒募集  
51年度訓練生として専修訓練課程（中卒者対象）と高等訓練課程（高卒者対象）を募集します。前橋、高崎、桐生、伊勢崎、太田、沼田、館林の各訓練校で訓練科目が多少異なりますが、前橋訓練校では機械科、機械2科、金属プレス科、溶接科（専修課程）電気工学科、経理事務科、タイフ経理科（高等課程）で、定員は各科とも二十～四十人。詳しくは県職業訓練課（電話23局一一一）内線五二六へ。

●第三回県民政治大学講座  
県選管、県民政治推進協議会主催の「県民政治大学講座」が10月13日・20日・27日の三日間、午後一時から四時まで、群馬会館ホールでひらかれます。政治・選挙に関心を持ち、三日間出席できる人は、ハガキ（住所・氏名・年齢・職業を明記）で、10月4日までに県選管事務局（大手町一丁目一一一）または市選管事務局（大手町二丁目一一一）へ。講師は13日がニュースキヤスター入江徳郎、作曲家高木東六、20日が慶大教授中村菊男、経済評論家夏目通利、27日がインテリビュアー下重暁子、NHK解説委員広瀬嘉夫の各氏。詳しくは市選管事務局（電話24局一一一）内線三五三へ。

●都市計画道路の決定  
市では、都市計画道路のうち、江田天川線・西部環状線・中央大橋線・三河線について、変更手続きをすすめてきましたが、去る八月三十日付け群馬県告示により、変更決定されましたので、県土木部都市計画課・市都市計画課で縦覧します。

### 保険料納め忘れは一生の損

国民年金は、特例老齢年金の「十年年金」と「五年年金」の支給が始まっています。ことし九月から「十年年金」は月額一万七千六百八十七円、「五年年金」は一万一千三百二十円（十月から一万三千円）が支給されています。二十五歳納付の本来的「老齢年金」は二万八千三百円、また付加

年金加入者は三万三千三百円にアップされています。

しかし、国民年金の定期保険料は、たとえ十年・二十年と納め続けていても、ある時期の保険料を二年過ぎても納めないで、その分は後になって納めることができない仕組みになっています。

このように、特例の年金を除いては、建前としてその人が六十歳になるまでに二十五年分の保険料を納めたことが必要ですから、もし未納分があれば、わずかな月数不足のため、せっかくの年金が受けられなくなってしまうのです。

こうしたことは、その人の一生の幸福を奪うことにもなります。このため、これらの人々を救うための特例として、ことし十二月末日を最終期限として強制加入期間（昭和48年4月1日以前）の未納分を一括して納付（一か月九百円の割）できる道がひらかれています。

期限内ならば、分納の方法もありです。もう一度、自分の保険料に未納分はないか、今すぐ確認しましょう。該当の人は、市役所国民年金課（電話24局一一一）内線二〇六へご相談ください。



# わが家の赤ちゃん



清水由香里ちゃん

南町三丁目十七・十二、清水  
潔・たつみさんの長女。デゴイチ  
に乗って、お澄  
しのところ。七  
か月ごろ、パパ  
がとった写真で  
す。パパっ子で、  
毎日パパの帰りを  
待っています。毎日  
がいたずらの連  
続で、ママを手こ  
ずらせています。



金井 大くん

駒形町五九三・四、金井啓太  
郎・由江さんの長男、十か月。車  
に乗って、ハン  
ドルをいじるの  
が大好き。車か  
らおりのを嫌  
がって、パパを  
困らせます。



茂木 英雄くん

総社町総社一〇九五、茂木信三  
郎・あけみさんの長男、一歳二か  
月。ママ23日生  
まれ、パパ24日  
生まれ、ボク25  
日生まれ。「マ  
マ」は「はい」が  
「パパ」はよく



斎藤 智彦くん

天川大島町一〇九二、斎藤好  
人・美恵子さんの長男、満一歳。  
ママが牛乳会社  
へ行っているた  
め、二歳のお姉  
ちゃんといっ  
たり、一日十本も飲  
む。普通



女屋 和則くん

天川大島町一三六九二、女屋  
恵・省子さんの長男、五か月。ボ  
クがお母さんの  
お腹の中にい  
るとき、お母さん  
が毎日横になっ  
ていたので、  
ボクも横にな  
るの癖になっ  
た。でも、今  
ではお父さんに  
似て「大の字」に  
寝るようになった。だって、ボク  
男の子だもんネー!!



春と秋、年2回の予防注射を受けさせるのは愛犬家の義務

## ワンちゃん登録と 狂犬病予防注射

対象は生後91日以上の犬

秋の犬の登録と狂犬病予防注射  
を、十月二日から各会場で行いま  
す。生後九十一日以上の犬を持  
ちのかたは、必ず受けさせてくだ  
さい。  
登録と予防注射日程

- 10月2日(木) 泉沢町公民館、荒子神社(午前) 富田神社、西大室公民館(午後)
- 10月3日(金) 城南支所、小屋原公民館(午前) 飯土井町公民館、下増田公民館(午後)
- 10月6日(月) 駒形町会議所、山王町公民館(午前) 広瀬第一集会所、朝倉団地公民館(午後)
- 10月7日(火) 三保町事務所、城東町二丁目諏訪神社(午前) 鳥取町公民館、小坂子公民館(午後)
- 10月8日(水) 亀泉町江木団地集会所、桂登公民館(午前) 堤町公会堂、朝日町一丁目稲荷神社(午後)
- 10月9日(木) 西片貝公民館、東片貝町公民館(午前) 野中町会議所、小島田町公民館(午後)
- 10月11日(土) 市役所中庭(午後)
- 10月13日(月) 力丸町公民館、亀里町竜門公民館(午前) 下川淵公民館、上川淵公民館(午後)
- 10月14日(火) 総社公民館、昭和町三丁目飛石稲荷(午前) 大友町公民館、川原町公民館(午後)
- 10月15日(水) 南橋公民館、荒牧町公民館(午前) 北代田町公民館、田口町公民館(午後)
- 10月16日(木) 上細井町公民館、金丸町公民館(午前) 芳賀公民館、嶺公民館(午後)
- 10月17日(金) 東公民館、大根中央公園(午前) 古市町第一公民館、光が丘公民館(午後)
- 10月21日(火) 元総社明神様、高井町公民館(午前) 中石倉公民館、清里公民館(午後)
- 10月22日(水) 六供町八幡様、後園町公民館(午前) 紅雲町一丁目殿島神社、南町三丁目淡島神社(午後)
- 10月23日(木) 岩神町二丁目観民稲荷様、昭和町一丁目(旧萩町)公民館(午前) 住吉町一丁目橋林寺、三河町一丁目養行寺(午後)
- 10月24日(金) 若宮町四丁目飯玉神社、表町二丁目(旧田中町)児童公園(午前) 若宮町一丁目寄居稲荷、文京町一丁目児童公園(午後)
- 10月28日(火) 永明公民館、文京町三丁目公民館(午前) 天川大島町原町公民館、天川大島町愛宕神社(午後)
- 時間は午前九時から正午まで、午後一時から三時まで。  
【料金】登録料三百円、注射料五百四十円、注射済票交付手数料六十円、合計九百円。なお、登録は一回で済みますが、春に登録の済んでいる犬は六百元です。
- ろうあ者  
家庭教育学級  
聴覚障害児を対象とした家庭教育学級が、県立ろう学校、中央公民館、身障福祉会館などを学習会場として、八月三十一日からじまっています。  
この学級は、学級生相互の連帯
- と家庭教育の重要性を理解するために、子どもの健康と食生活、筆談による会話、家庭看護法などの内容を、十一月までに十回の学習を行います。  
すでに、六十人のかたが第一回から学習していますが、まだ途中でも参加できます。希望者は、中央公民館(大手町三丁目十五一三、電話31局五七二一)へお申し込みください。
- 10月から新しい  
保険証に切替え  
現在、みなさんが使っている市の国民健康保険の「被保険者証」(黄色)は、十月から新しい「保険証」(白色)にかわります。  
新しい保険証は、町内の行政自治委員さんを通じて、九月二十日から三十日までの間にみなさんのお手元に配付されます。配付のときに現在使っている保険証と引き替えますから、前もって保険証を用意しておく必要はありません。詳しくは、市保健課給付係(電話24局一〇一・一内線三七七)へ問い合わせください。
- 胃の集団検診  
市では、九月に引き続いて胃の集団検診を次のとおり行います。  
【日程】  
10月1日(水) 荒子小学校(下大屋町、泉沢町、富田町、西大室町、東大室町)

## 市民献血

10月1日(水) 午前九時半から午後三時半まで。場所  
は、前三百商店西側歩道。

10月2日(木) 市メディカルセン  
ター内対がん協会診療所(千代  
田町一五丁目、本町一三三  
丁目)

10月3日(金) 下川淵公民館  
(鶴光路町、新堀町、下阿内町、  
力丸町、徳丸町、房丸町)

10月6日(月) 下川淵公民館  
(公田町、横手町、亀里町)

10月7日(火) 駒形小学校(駒  
形町、中内町、東善町、下増田  
町)

10月9日(木) メディカルセン  
ター内対がん協会診療所(文京  
町一四丁目、天川町、天川原  
町)

○時間はいずれも午前八時三十  
分から十時まで。

## ガン早期発見8か条

- ①胃の食欲がなくなり、好みが変わったりしないか
- ②子宮のおりものや不正出血はないか
- ③乳房のなかにシコリはないか
- ④食道のむくみ、むくみ、つかえることはないか
- ⑤大腸・直腸の便に血や粘液がまじったりしないか
- ⑥肺の咳が続き、痰が黄色い、赤い、または血が混じっているか
- ⑦皮膚の赤い、腫れた、かゆい、潰瘍はないか
- ⑧腎臓・膀胱・前立腺の尿の出がわるくなった、血がまじったりしないか

## 健康メモ帳

### 急性中耳炎

難聴や耳漏れの原因にも

九月も半ばとなり、秋の気配が深まると、いよいよ風邪の季節も間近か。この時期になると、中耳炎を起こす人がふえてきます。ところで、中耳炎は多くの場合、鼻、鼻、咽頭、扁桃腺、扁桃腺など上気道の炎症で病原菌がせき、くしゃみ、あくび、鼻をかむ等の動作で、鼻の奥と中耳を結ぶ耳管という細い管を通して中耳内へ侵入、そこに炎症を起こすことから起こります。特に小さい子どもたちは、このくだけたおとなにくらべて太く短かくて病原菌が侵入しやすく、その上抵抗力が弱いので中耳炎を起こしやすいのです。

中耳炎を起こした場合、最も多く見られる症状は耳痛です。続いて耳漏れ、発熱、難聴などが起こります。カゼひきの赤ちゃんなどがぐずるときは、耳が痛む場合が多く中耳炎を疑う必要があります。予防としては、カゼなどの上気道の炎症にならないようにするのが第一。規則正しい生活をし、疲労を避け、鼻、鼻、副鼻腔炎、アデノイドがあつたり、カゼの場合にも早めに処置・手当をすることが大切です。

もし、中耳炎が疑われるとき、また中耳炎になってしまったときは、すぐ医師に相談し、十分な治療が必要です。早めの処置、手当てによって合併症を起こすことも避けられ、昔のように慢性化し、難聴や耳漏れを残すことは、きわめて少なくなっているといえます。  
(前橋市医師会)

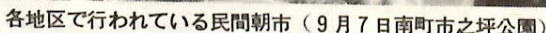
## 各種健康相談

○前橋保健所の母親学級

十月七日、十四日、二十一日、二十八日の五回。対象は妊娠四か月から八か月の人。時間はいずれも午後一時から。



28日・中央駅通り商店街で



なお、当日、会場付近は混み合いますので、できるだけ車でのお出かけはご遠慮ください。駐車違反のないようご注意ください。駐車場としては、中央駐車場、広瀬カーボ

九月十五日は敬老の日――。芳賀地区青年団（横山義彦団長）では、六十人の団員が総出で廃品回収をして集めたお金をもとに、地区のおとしよりのために、毎年、敬老会をひらいています。

ことは九月七日十時から芳賀中学校体育館に、六十歳以上のおとしより三百人を招待、青年団員たちが練習を積んだコーラス、民謡、のど自慢、八木節、落語の二人羽織や寸劇など、ユーモラスな迷演技？もとびだして、おとしよりのみなさんの拍手喝采をあびてい

迷演技?に思わず爆笑

## 迷演技?に思わず爆笑

Ⅰ 駐車場、上電プラザ駐車場、  
 鹿島建設資材置場、第二中学校校  
 庭（雨の日は、校庭がこわれるの  
 で「遠慮を」）などが利用できま  
 す。午前九時以降は広瀬、上電、  
 中央とも有料となりますのでご了  
 承を。

**民間朝市案内**

9月21日（日） Ⅱあさ7～9時。

△前身の訂正▽消費生活問題研究所は、モデル地区の指定で「大手町三丁目」とありましたのは「二丁目」の誤りにつき、お詫びして訂正いたします。

**消費生活の  
相談・苦情窓口**

生活三〇〇番はみなさんの消費生活相談ダイヤルです。お気軽にご利用ください。

○：詳しくは市人事課（電話24局一一一内線二二二）へ。

あたたかい  
こころ

□鯉十五キロ、うなぎ五キロ□千代田町四丁目三十一、矢内（福島菊枝代表）さんから、さちの池へ。

あたたかい  
ころ

50年度市職員採用試験

申込受付中

山村暮鳥

②

題字・伊藤信吉

講のふるさと・前橋

54

題字・伊藤信吉

利根の船橋

「半面自伝」の中で暮島は「十小学校の代用教員となつた。三つともこまかして許可の辭を受けた。」と記している。明治十二年のことである。暮島が学校の代用教員となつたのは、ような理由からだかわからなしかし、十六歳の少年が、年偽つてまでも教職につこうとからには、それだけの事情がたに違ひない。やはり家庭環境から来るものであつたのだろであり、弟妹もいた。貧しい

境の中にあつて、向学心だけは人  
なみ以上に燃えていた。小学校に  
勤めはじめた頃、夜は松山寺とい  
う寺へ漢籍をならいにいった。四  
書、五経、史記などをそこで学ん  
だ。そして、明治三十四年一月、  
前橋の聖マツテア教会で英語の夜  
学校が開設されると、すすんでそ  
こへかようようになった。群馬町  
から前橋まで遠い。約六キロメ  
ートル。今日では車で十分ほどで  
あるが、徒歩でこの道をかよふの  
である。学校が終えた夜の道を、  
棟高から背谷を抜け、国府の南を  
とおり、元総社に出る。細くまが

近くにいて家  
のことも知れな  
尋常小学校高  
中退の暮鳥  
母校、堤ヶ岡  
校の臨時雇を  
しれ「尋常科  
を担当し  
の時の教え  
山茂市がい  
山は群馬町  
の出身で、  
学から群馬



りくねった農道の  
桑畑の風景は長  
く、疲れる。ほと  
んど人家のない道  
は単調で、暗くさ  
びしい。それでも  
石倉あたりまでく  
ると、赤城、榛名が  
遠くにみえ、利根  
の瀬音が聞こえて  
くる。そこから船  
橋を渡ると、よう  
やく前橋の町であ  
った。当時、利根  
橋があったが、少  
しも近い景宇裏

10月1日、全国いっせいに国勢調査が行われます。国勢調査は、みなさんの明るい暮らしと住みよい町づくりのための、いろいろな施策を進めていく上で、欠くことのできない基礎資料を得るための調査です。

この調査では、全国の1億1,000万を起えるすべての人たちに、もれなく申告していただくことになっています。みなさんのお宅へは9月24日から30日ごろまでの間に、調査員が調査票の記入のおねがいにあがります。

調査票には、お宅にふだん住んでいる人、長期滞在している人や生まれたばかりの赤ちゃんも、もれなく記入してください。記入いただいた調査票は、10月1日から5日までに調査員が取り集めに伺います。みなさんのご協力をおねがいいたします。

国勢調査の予想数

市の国勢調査人口の予想をおよそください。官製ハガキに、住所・氏名・年齢・性別・職業を書き人口予想数を算用数字でハガキの上部に書いて、9月30日までに市役所商政課内前橋市国勢調査本部(大手町二丁目11-1)へ。的中者1人のときは1万円と副賞を、2人以上のときは、1万円の的中者で分け副賞も贈ります。発表は12月15日号広報紙上で。あなたもぜひどうぞ——。

＜参考＞昭和45年国勢調査人口は233,632人その後の人口動態は46年3,991人、47年4,051人、48年4,428人、49年3,139人の増となっています。

さて、あなたの予想人口は？

# 中央児童遊園の休園

9月11 毎週火曜日と17日。  
10月11 毎週火曜日。  
11月11 毎週火曜日と5日・26

に十七歳の、頭髪を三七に分けた、眉目秀麗、中肉中脊の美青年であった。しかし何とんでも文学的な自由奔放の、それでいて感情を細かにつかうこの先生は、国語の授業が得意であつた。将来童話を書いてでも一家をなすだけあつて、お話の時は皆目を光らせていた。小山茂吉は、その著「暮鳥伝」でこのように述べている。

暮鳥の青年時代は、すべてにめざましなかつた。しかし、その逆

かぜ暮鳥の心情がよく出ている歌である。「利根川の船橋を渉つて往復七里を毎夜、北曲輪町のチャペル氏の夜学校へ」今も初冬と晩春には脛に一種の腫物（はれもの）ができる。その時の賜物（たまもの）である。」と云っている。苦学時代の暮鳥の夜は、春夏秋冬にわたって、前橋とかかわっていたのであった。（写真は暮鳥が夜学校へ通うために渡った利根川・宇佐美橋は、今はない。）